

# ① 船員不足の深刻化への対応：船員職業安定法、船員法の改正

## 対応策：人材確保の間口の拡充 【船員職業安定法】

### ● 地方公共団体による無料の船員職業紹介事業の解禁

○ 多様な人材を対象にできるように人材確保の間口を拡大

### ● 船員募集情報提供事業の創設 ● 募集情報の的確表示義務の導入

○ 求人情報サイト等で船員の募集情報を提供する事業を法律上に位置づけて、報告徴収等の規定を適用できることとする

○ 船員の募集情報を取り扱う者に対して、虚偽表示や誤解を生じさせる表示の禁止等の措置を義務付け

## 現行の職業安定制度の比較

		船員職業安定法	職業安定法
無料の職業紹介事業	民間団体等	許可制 (事業者や労働者の団体)	許可制
	地方公共団体	禁止	通知制
	学校等	届出制 (船員教育機関)	届出制
募集情報等提供事業		自由(規制なし)	情報の的確表示等の規制あり

## 船員の募集に関する求人情報サイトの課題

- 船員の募集情報に関する労働条件などの虚偽記載(いわゆる釣り広告)
- 適格性や安全性を担保されていない事業者が運営する求人情報サイト等の利用に対する不安
- 掲載する募集情報に対する責任感の欠如 等

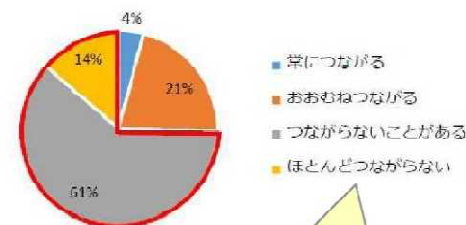
(海運事業者・船員を対象にしたアンケート調査より(令和6年9～10月実施))

## 対応策：海上労働環境の改善 【船員法】

### ● 快適な海上労働環境の形成に係る努力義務の導入

○ 船舶所有者に対して、快適な海上労働環境(※)の形成ための措置を講ずる努力義務を導入。国が指針を策定  
(※船内の職場環境・居室環境・通信環境等)

## 洋上通信の利用に関するアンケート調査 (令和4年度)



約7割以上が「つながらないことがある」、または「ほとんどつながらない」と回答

## 快適な海上労働環境の形成のための措置(イメージ)

係船・投錨時のウインチ作業の遠隔自動化



船員室へのシャワー・トイレの設置



# 26人乗り観光船不明



観光船「KAZU I」  
(知床遊覧船のホームページから)

## 観光船をめぐる経緯

**23日** 26人乗せた観光船「KAZU I (カズ・ワン)」が北海道斜里町ウトロの港を出港  
**午前10時ごろ** 観光船からカシユニの滝近くで「浸水している」と118番通報。第1管区海上保安本部が対策本部を設置  
**午後1時15分ごろ** 消防が事故を覚知  
**1時50分ごろ** 消防が事故を覚知  
**2時ごろ** 観光船から「30度ほど傾いている」と運航会社に連絡  
**4時半ごろ** 釧路航空基地所属のヘリ「しまふくろう2号」が到着。捜索を開始  
**6時ごろ** 1管が網走海上保安署に現地対策本部を設置。前後して、根室海上保安部の中型巡視船「くまじり」、千歳航空基地の飛行機「おおわし3号」が到着  
**7時半** 総務省消防庁が災害対策室を設置  
**7時40分** 1管が航空自衛隊に災害派遣を要請、受理される  
**10時以降** 国土交通省が対策本部会議を開始。災害派遣要請を受けた航空自衛隊機が現場で捜索を開始

斜里町では朝から強風が吹き、波が高い状況だった。1管によると、26人の観光船「KAZU I (カズ・ワン)」(19人)から「船首の部分が浸水し、沈みかかっている。救助してほしい」と第1管区海上保安本部(小樽)に救助要請があった。海上保安庁は、乗客乗員計26人の安否が分からないと明らかにした。遭難したとみて、1管のヘリコプターや巡視船が現場海域を捜索しているが、24日午前1時現在、見つかっておらず、夜通しで捜索を続ける。

26面に「事故後絶たず」、27面に「捜索続く」

うち客は大人22人と子供2人の滝」付近から救助要請。午後2時ごろ、同社に「30度ほど傾いている」と保有運航する「知床遊覧」連絡して以降、音信が途絶した。同社は、乗客乗員に救命胴衣を着用させていたと1管に説明している。カズ・ワンは午前10時ごろ、同町ウトロの港を出た後、約27キロ北東の「カシユニ」に到着する予定だったが、同日午後、国土交通省は同日夜、対策本部会議を開催、斉藤鉄夫大臣は運航会社を監査するよう指示した。同管海事局は海上運送法に基づき

## 知床沿岸「浸水した」 強風・高波で注意報

24日にも調査を始める方針。1管は網走海上保安署に「現地対策本部」を設け、1管からの災害派遣要請を受けて、航空自衛隊のU-125A数機捜索機が現場で活動を開始した。

札幌管区気象台によると、斜里町では23日未明に強風注意報が出されており、ウトロ漁協の職員によると、所属漁船は同日昼前に帰港していたという。現場海域は岩礁がある。海保のデータでは救助要請があった時刻は干潮に近い時間帯。現場周辺は急激に水深が深くなっている。気象庁によると、この数日の現場付近の海水温は2〜4度程度。23日の最低気温は3度を下回っていた。カズ・ワンは昨年5月、浮遊物にぶつかって乗客3人が軽傷を負う事故を起こしていたほか、同6月にも、出航後間もなく浅瀬に乗り上げる座礁事故を起こした。けが人はいなかった。知床遊覧船のホームページによると、カズ・ワンの定員は65人。

首相が指示 捜索  
岸田文雄首相は24日未明、官邸で記者団に対し、北海道・知床半島の観光船「KAZU I」が遭難した。首相は事故対応のため、23、24両日で予定していた熊本県訪問日程を切り上げ、自衛隊機で東京に戻った。

船浸水事故について「人命救助を最優先に関係機関が全力を挙げて捜索、救助活動を行っていく」と述べた。

# ① 離島航路の確保維持による地域の活性化 (地域公共交通確保維持改善事業)

【関連施策(総合政策局)】

予算額: 209億円の内数(前年度: 214億円の内数)

## 事業内容

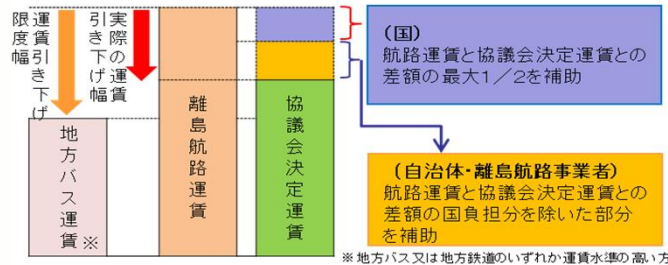
離島航路は、離島に暮らす住民にとって、日常生活における移動や生活必需品等の輸送のために不可欠の交通手段であり、唯一かつ赤字の航路の確保・維持を図る。

### 1. 離島航路運営費補助

- ・補助対象: 唯一かつ赤字の航路
- ・欠損見込額全体に対する補助

### 2. 離島住民運賃割引補助

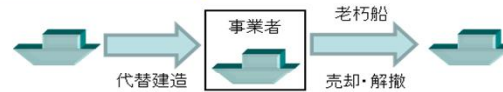
- ・補助対象: 唯一かつ赤字の航路
- ・地方バス運賃を下限に、協議会で決定された運賃引き下げ額の2分の1を支援



### 3. 離島航路構造改革補助金

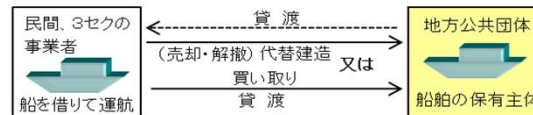
- ・補助対象: 唯一かつ赤字の航路
- ・効率船舶の導入等のための船舶の代替建造費用への支援

#### ① 共有建造方式の場合

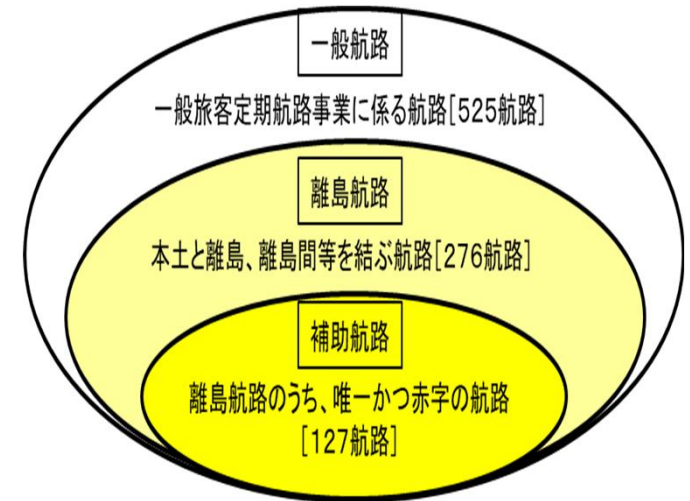


**10% (補助)** **90%**  
 ((独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構による船舶共有建造制度の活用が可能。同機構の負担部分は、事業者が共有期間を通じて毎月、船舶使用料として支払う。)

#### ② 公設民営方式の場合



**30% (補助)** **70%**  
 (過疎債(充当率100%、交付税措置率70%)及び辺地債(充当率100%、交付税措置率80%)の充当が可能)



【離島航路に就航する船舶の例】



# ② 交通DX・GXによる経営改善支援等

【関連施策(総合政策局)】

補正予算額: 326億円の内数

## 事業内容

地域交通の再構築等を図るため、以下の支援を実施。

- ・既存補助航路の維持等(欠損額増大に対する支援)
- ・経営効率化・経営力強化を図る取組等に対する支援(DX・GXに要する経費等)



省エネエンジンの導入